

## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書(市町村)

都道府県名	静岡県
-------	-----

承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検（評価）における所見（評価）及び指導内容
平成27年度 (26年度・本省越)	伊豆の国市	菰山	—
平成27年度 (26年度・本省越)	三島市	三島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aは経営面積拡大で目標に及ばなかったが、現在耕作地周辺で地権者と利用権設定に向けて交渉中である。</li> <li>・ Bは経営面積拡大及び農産物の高付加価値化で目標に及ばなかった。経営面積拡大については、27年度中に良い土地の発見に至らなかったため、未達成となった。今後はJA三島函南と市の農地流動担当と連携し、情報の共有を綿密に行うように指導した。また、農産物の高付加価値については、ハウスの竣工が10月であり、冬季の葉ネギの作付けに間に合わなかったことが要因である。現在は小松菜の栽培をしながら土壌改良を行っており、今後は、葉ネギ、ロメインレタス等の新規栽培作物と従前から栽培している小松菜との輪作を行い目標を達成する。</li> </ul>
平成27年度 (26年度・本省越)	沼津市	浮島・原・愛鷹・片浜・金岡・旧沼津・大岡・静浦・内浦・西浦・大平・戸田	<p>平成27年に事業を実施した4経営体のうち半数の2経営体において、目標未達成だった。</p> <p>【A氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「経営面積の拡大」について</li> </ul> <p>規模拡大を希望する土地の所有権者と貸借契約が折り合わず、目標未達となった。今後はJA農地担当と連携しながら、借入れる土地に係る希望条件を緩和し、より広い視野で規模拡大を図るよう指導する。については、本年8月に戸別訪問を行い目標達成に向けた指導をする。その後も引き続き経過観察をしていく。</p> <p>【A氏、B氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「経営コストの縮減」について</li> </ul> <p>補助金交付決定後速やかに着工したが、受注生産のため納品に時間を要し、本機械を十分に活用できなかったことに起因する。なお、今年度は本機械の導入により労働時間が大幅に縮減されたことを確認している。</p> <p>【C氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「経営面積の拡大」及び「耕作放棄地の解消」について</li> </ul> <p>自身の経営条件を満たす圃場を選別しているため、規模拡大はしたものの目標には及ばなかった。今後はJA農地担当と連携しながら情報を提供し、土地に係る希望条件を緩和するよう指導する。また、耕作放棄地を借入れ、再生し、耕作することにより、規模拡大を図ることを支援していく。については、本年8月に戸別訪問を実施し目標達成に向けた指導を行う。その後も継続して経過観察していく。</p>
平成27年度 (26年度・本省越)	富士宮市	富士宮	6次産業化の目標が達成できなかった者がいるが、2年目は、経営面積の拡大により出荷量も増加し、付加価値の高い「夏イチゴ」であるため、販売店舗数の増加は、達成できるものと考えられる。
平成27年度 (26年度・本省越)	焼津市	静浜	—
平成27年度 (26年度・本省越)	島田市	島田市	—
平成27年度 (26年度・本省越)	川根本町	川根本町	—

平成27年度 (26年度・ 本省越)	磐田市	北部	「経営面積の拡大」については、現在作付けしている農地の周辺で近隣農家等の情報を参考に対象となる候補地を探していたが、情報が限られるため候補地の選定に至っていない。そこで、今後は、近隣の農地に限定せず北部地区を主体により広い地域から農地の情報を収集するよう指導した。現在、農業委員会を通じて提示された複数の候補地の中から選定を進めているところである。
平成27年度 (26年度・ 本省越)	磐田市	東部	—
平成27年度 (26年度・ 本省越)	磐田市	西南	—
平成27年度 (26年度・ 本省越)	磐田市	豊田	「経営面積の拡大」については農業委員会等を通じて候補地の選定を進めているが、貸手農家との調整が不調に終わるなどの理由で年度目標の達成には至っていない。引き続き、農業委員会等から情報提供を受けるとともに、農地中間管理事業を活用しての農地集積を進めるように指導している。
平成27年度 (26年度・ 本省越)	掛川市	横須賀・大淵	「経営面積の拡大」については事業により導入した施設が計画時と比べて一部設計変更され、計画面積を約100㎡下回ったことにより1経営体で目標を達成できていない。そこで、対象農家が検討している育苗にも利用できる小規模ハウスの導入について、農業委員会等と連携して増築候補地を選定するとともに、中古施設の借入についても検討するよう指導している。
平成27年度 (26年度・ 本省越)	菊川市	菊川	—
平成27年度 (26年度・ 本省越)	浜松市	中央・西・北・ 浜北・天竜地区	成果目標5項目のうち4項目(拡大・6次化・高価値化・コスト削減)が達成した。未達成となった雇用を目標設定した助成対象者は拡大を達成しており、雇用の必要性は高いため、条件や募集の方法について助言するよう市を指導する。また、個別には高価値化や6次化で気象条件の影響により目標未達成となった者や現状値より下がった者が多数おり、また、拡大の実績を上げることができなかった者も複数いるため、導入機械等の効果的な活用や農地の情報収集に努めることでそれぞれが目標達成するよう併せて市を指導する。

- (注) 1 都道府県知事は、本様式を地方農政局長(北海道にあっては経営局長、沖縄県にあっては内閣府沖縄総合事務局長。以下同じ。)へ報告する際、事業実施主体から提出された報告書に添付するものとする。
- 2 成果目標等が未達成であり、事業実施主体に対して指導を行った地区の場合は、所見(評価)と合わせて指導内容を記入し、目標等が達成している地区の場合は「—」を記入する。
- 3 目標年度を超えて継続して評価を実施する場合も、同様とする。